

季刊

きまっしー

Vol. 23

発行日：令和3年6月1日

発行元：社会福祉法人みのり会

生活支援センターきまっしー

連絡先：宮前区馬絹6丁目10番33号

まじわーる宮前2階

TEL 044(855)1011

FAX 044(855)1022

kimassi@tobe-kobato.or.jp



<https://www.facebook.com/kimassi.kimassi/>

令和3年度最初の季刊紙です。昨年はコロナ感染症で一年が終わり今年度は感染予防の徹底を図りながら活動ができると楽しみにしておりましたが、「ワークショップ(フラワーアレンジメント)」は中止、「まなぶ(身体障がい)」・「ステップアップ講座(障害年金の基本)」の二つは5月実施を6月に延期にしました。今後もこのような事の繰り返しになるかもしれませんが伝えたい事はたくさんありますので、工夫をしながら計画を立てていこうと考えています。講師の方や参加希望者にはご迷惑をおかけしますが、ご理解よろしくお願いします。

障がいのある皆さんは、このコロナの制限の中、我慢しております。中にはチャンスと家の中にこもってしまう方もありますが、とにかく忍耐力がすごいです。ワクチンがはやく接種できるといいですね。

又、地域の皆様も活動がうまくいかず困っている方も多いかと思いますが、発想の転換でいろんな意見や提案がありましたらお受けしますのでご意見をお聞かせください。

【みのり会ご利用者様】 提供作品

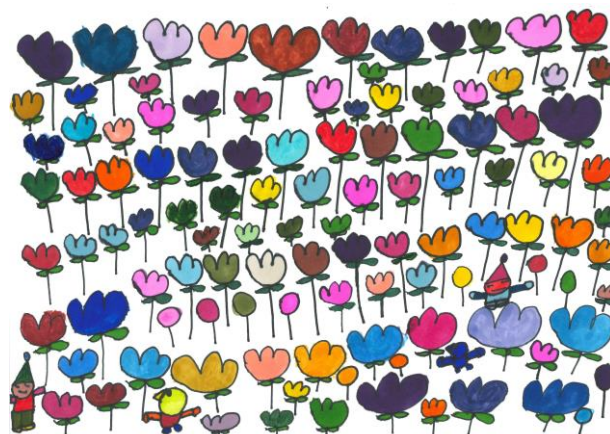
華やかなアートをご紹介します。

今回は、みのり会のご利用者様2名の作品です。

色鮮やかで見えてとても元気をもらえる作品です!!



道田さん (セルフ宮前こぼと)
「アジサイと傘を差した女性」



飛田さん (厨房じんべい分場工房じんべい)
「いきいきとしたチューリップ」

【宮前区地ケア講演会】に参加し、発表をしました！

令和3年3月7日(日)、宮前区役所を中心に開催された、宮前区地域包括ケアシステム推進講演会「地域で障害者と生きる人たちからのメッセージ」に当法人職員が参加し、発表をさせていただきました。

みのり会の特徴の一つである「アート活動」に焦点を当て、どのように障がいを持つ方と接し、活動を支援しているのかを発表させていただきました。又、利用者様の作品を紹介させていただく貴重な機会となりました。

この模様は、タウンニュース宮前区版(2021年3月12日号、3月19日号)にも取り上げて頂き、みのり会の活動が、多くの方に知っていただける機会となったことを嬉しく思います。

新型コロナウイルスの感染拡大により、展示会等の機会が減少していますが、みのり会ご利用者様のアートに関心を持った方は是非、セルプ宮前こぼと(044-855-9455)までご連絡ください!!



【まじわーるdeトーク】を開催しました！！

令和3年4月10日(土)、まじわーる宮前2階あーる工房食堂にて、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底して、「まじわーるdeトーク」を開催しました。

まず最初は、新型コロナウイルス感染症が発生して1年がたち、皆さんは、どのような気持ちで、どのような生活をして過ごしていたのかという話をしました。日々の生活、仕事のこと等、皆様とても沢山の想いがありました。そしてお互いの話を聞いて、共感をしたり、とても有意義な時間になりました。

又、新型コロナウイルス感染症が終息したら、何がしたいかという話題になり、皆様の希望を聞くことができました。早く当たり前の日常に戻ってほしいと思うばかりです。

新型コロナウイルス感染症の影響で、「まじわーるdeトーク」は1年以上開催を中止していました。

久しぶりの開催に、参加者の皆様はとても楽しそうで、マスク越しでも笑顔が伝わりました。

今後も、世の中の状況をみながら、感染症対策を徹底して、みんなが楽しめる「まじわーるdeトーク」を開催していきたいと考えています。

